

1. 科目名（単位 数）	世界史（2 単位）	3. 科目番号	GELA1328
2. 授業担当教員	野口 生也		
4. 授業形態	講義・ディスカッション・グループワーク	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係	特になし		
7. 講義概要	歴史を学ぶということは過去を記憶することのみにとどまるものではない。それを踏まえ、現在をどのように生き、さらに未来をどう構築していくのかについて主体的に考えることである。つまり、現存の社会、経済、政治制度、文化、思想、技術などがどのように形成されてきたのか、それを今後どのようにしていくのかについて、総体的に捉えることが必要である。各地域の歴史、文化、民族などは共通する部分もあるが、基本的にはそれぞれが異質な存在であるとらえた方がそれらに対し真摯である。世界史の授業では、様々な地域の歴史を学ぶことを通して、各地域の文化や民族の特質を理解し、多文化共生社会の実現に向けて必要となる知識や教養を身に付けることを目的とし、 受講生の興味・関心のある課題を取り入れながら授業を進めていくことにする。		
8. 学習目標	大きな目標は4点である。 1 平和を維持するため、戦争を起こさないための強い気持と行動力を形成し、実践に活かすことができる。 2 現代にいたる歴史の概要を理解し、説明することができる。 3 それぞれの地域、文化、民族の特質を理解し、説明することができる。 4 多文化が共生するためには相互理解が必要であることを理解し、説明することができる。		
9. アサシメント （宿題）及びレポ ート課題	1. 学習課題の事前学習と事後学習を行うこと。 2. 授業内課題は授業の終わりに提出すること。 3. 発表のpptファイルを第12回授業日までに提出すること（発表とともに評定の方法「2 課題レポート」として評価）。		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】なし 【参考書】授業時に指示する。 【教材】随時、資料を配布する。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	1. 世界史に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業への積極的参加 総合点の30％ 2 課題レポート 総合点の50％ 3 日常の学習状況 総合点の20％		
12. 受講生への メッセージ	分からないことや共有したいことがあれば、積極的に発言しましょう。ペアやグループでの活動では、お互いを尊重し、協力しましょう。		
13. オフィスアワー	授業内で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 宗教を軸に世界史を学ぶ意義について	事前学習	シラバスと資料を読み、扱う内容について把握する。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第2回	歴史・宗教・世界情勢	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第3回	イスラム教をめぐる世界情勢	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第4回	イスラム教の歴史	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第5回	イスラム過激派	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第6回	キリスト教をめぐる世界情勢	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第7回	キリスト教の歴史	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。

第 8 回	キリスト教と欧米	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第 9 回	ユダヤ教をめぐる世界情勢	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第 1 0 回	ユダヤ教の歴史 ※発表テーマ決定	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。発表を準備する。
第 1 1 回	ユダヤ人とユダヤ社会	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。発表を準備する。
第 1 2 回	その他の宗教をめぐる世界情勢と歴史 ※発表 ppt ファイル提出	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。発表のリハーサルをする。
第 1 3 回	発表と質疑応答（1）	事前学習	発表の最終リハーサルをする。
		事後学習	発表後の反省点や質疑応答の内容を整理する。
第 1 4 回	発表と質疑応答（2） 総合ディスカッション	事前学習	発表の最終リハーサルをする。
		事後学習	発表後の反省点、質疑応答、ディスカッションの内容を整理する。
第 1 5 回	授業全体の総括および提出物確認	事前学習	これまでの授業内容を振り返る。
		事後学習	卒業までの研究計画を立てる。